

会議録

令和6年11月20日提出

会議の名称	西東京市公民館運営審議会 令和6年度第5回定例会
開催日時	令和6年9月18日(水) 18時30分から19時45分まで
開催場所	柳沢公民館 視聴覚室
出席者	委員：西原みどり(会長)、小須田厚子(副会長)、辻康一、高井正、荒井容子、荒井茂、小池教之、石川健、青木美紀子、ギログリー江美、城石雅行、松本 静 職員：福所館長、市川事業係長、山本分館長(田無)、根岸分館長(芝久保)、一之瀬分館長(谷戸)、安島分館長(保谷駅前)、星野事業係主任
欠席者	高橋浩一、下坂小百合
議題	1 審議事項 (1) 令和6年度第3回定例会会議録(案)について(資料1) (2) 令和6年度第4回定例会会議録(案)について 2 主催事業について (1) 令和6年度公民館主催事業報告について(資料2) (2) 令和6年度公民館主催事業計画について(資料3) 3 報告事項 (1) 行政報告 (2) 公民館だより編集室報告 (3) 東京都公民館連絡協議会委員部会運営委員会報告 4 事務連絡及び情報交換 (1) 令和6年度第1回利用者懇談会について (2) その他 (3) 令和6年度第6回定例会の開催について
会議資料の名称	【配付資料】 資料1 令和6年度第3回定例会会議録(案) 資料2 令和6年度公民館主催事業報告書 資料3 令和6年度公民館主催事業計画書
記録方法	☐ 全文記録 ☒ 発言者の発言内容ごとの要点記録 ☐ 会議内容の要点記録
傍聴者	☒ あり(1名) ☐ なし
会議内容	
1 審議事項 (1) 令和6年度第3回定例会会議録(案)について(資料1) ●令和6年度第3回定例会会議録(案)について承認 (2) 令和6年度第4回定例会会議録(案)について ●令和6年度第4回定例会会議録(案)については、各自内容を確認し、1週間を目途に修正、意見がある場合、事務局に連絡することとする。 2 主催事業について (1) 令和6年度公民館主催事業報告について(資料2) ○分館長(芝久保) 多世代交流講座「掘って描くさつまいも～みんなで収穫&五感でアート～」(芝久保)について、前回の定例会でいただいたご質問にお答えする。畑から掘り出したさつまいもの取り扱いについてだが、参加者から掘ったさつまいもを一つずつお預かりし、それ以外のご自宅にお持ち帰りいただく。公民館で保管し名前のラベルを付けたさつまいもを、11月24日にお配り	

し、五感を使って、見て感じて描いていただく。

○A委員

子ども体験講座「ガラスモザイクアートで作るオリジナル小箱」について、申込みが155人あったということだが、どのように選んだのか。

○分館長（谷戸）

各回10人定員のため、初めての方を優先に抽選を行った。

○B委員

参加費はいくらだったか。

○分館長（谷戸）

材料費として500円をいただいた。

○C委員

子どもと保護者の体験講座「プラネタリウムシアター 親子で聴きたい宇宙のはなし」（ひばりが丘）について、盛況で、「ここがひばりが丘公民館ということを忘れてしまいました」という大人の方の感想もあった。夏に遠くまで行かなくてもひばりが丘公民館で夜空を見れる、近くでこういうことができるということがよいと思った。

○事業係長

今年で4回目だが、室内を真っ暗にしてピアノの演奏が付いて、星空を映し出して、解説も付くという非日常を味わえるので、好評。今年は暑さが尋常ではなかった。去年は暑さのため気分が悪くなった子どもや暑いので欠席した子どももいた。夏休み期間中に実施するので、どの時間帯も暑い、午前中のなるべく早い時間に行うようにしている。総じて参加した方の満足度は高い講座だと聞いている。

○A委員

リピーターで来られている方がかなり多く、心待ちにされている事業だと思う。ひばりが丘公民館の近所の人にとってはいいと思う。西武池袋線以北の、できればピアノのある施設で是非やってほしい。

子どもと保護者対象講座“親子ではじめよう理科読！「変身めいじん 水」”（田無）について、保護者の父親、母親の割合について知りたい。どうだったか。また、田無四中、田無一中のSDGsサポーターの中学生ボランティアが助手として参加したということだが、SDGsロビーフェスタからずっと田無公民館に目を向けてかかわってくれていることは、谷戸公民館もそうだが、よい流れを地域で作っているのも、今後も期待したい。

○B委員

中学生ボランティアの感想も聞いていれば教えてほしい。

○分館長（田無）

参加した親子16組中、父親の参加が5人だった。中学生ボランティアの方からは、身近な水を使った実験で、楽しく、有意義な時間を過ごせたといった感想をいただいた。

○C委員

中学生ボランティアは助手としてどんなことを担ったのか。

○分館長（田無）

受付から実験の材料配りまで活躍していただいた。実験もしていただいた。

○D委員

暮らしに役立つ実学講座1「スマホの安全な使い方教えます」（芝久保）の講師欄にアシスタント各回4人とあるが、参加者12人に対し、非常に手厚くすばらしいと思った。アシスタントの実際の様子はどうだったのか。また、先程、尋常でない暑さになってきているので、講座の実施時期や時間等について検討が必要という話があったが、公民館は冷房完備であり、休憩所として地域の人が来てもよいことになっている。注意は必要だが、これからも、夏休み期間中に事業を実施していったほしい。

○分館長（芝久保）

参加者の中にはスマホの音量調整が判らない方もおられ、4人のアシスタントに専門員も入って一緒に説明した。また、QRコードについては、講師とアシスタントが丁寧に、地道に指導することで、最終的に利用できるようになった。今年度は後期にもスマホの使い方の講座を予定

しており、本日の定例会に事業計画書を提出している。今日、いただいた意見も踏まえて、後期の講座を実施したい。参加者は高齢の方が多いため、講師やアシスタントと連携しながら丁寧に対応できればと思う。

○E委員

子どもと保護者の体験講座（ひばりが丘）について、暑いということだが、行き帰りが暑いのか、部屋が暑いのか。

○事業係長

行き帰りが暑いということで、「外に出たが暑すぎて行けません」という電話があった。

○E委員

全体にかかわることだが、私は、以前から、公民館が、学校教育の補助のような事業を行うことについて、それでいいのかと問うてきた。しかし、子どもと保護者対象講座（田無）は、報告書を読むと面白い展開になっている。例えば、プラネタリウムはとてもよいと定着すれば、ひばりが丘公民館の特徴として続けていくことがあってもいいと思う。子ども対象、親子対象事業の報告書を読んで、改めて、どういうふう子どもを対象とした事業を位置付けていくのか、公民館はすべてを網羅できないが、担当の職員に力がある場合には、特徴として、そういうものを蓄積させていくという発想もあるのではないかと思った。

(2) 令和6年度公民館主催事業計画について(資料3)

○E委員

教養講座「脳の秘密 食欲と眠気はどこからくる？」（柳沢）について、脳の講座はマニアックで学ぶ機会がないので、継続したら面白いと思った。内容については、科学的な脳の話自体は興味深いと思われるが、講師は日々の生活とつなげる材料を用意されているのか。

○事業係長

講座の中で小グループに分かれ、講師から出される質問についてグループで話し合っ、答えを自分たちで見つけ発表する予定。昨年度の教養講座では盛り上がったと聞いている。また、今回は、オンライン参加もできるハイブリッド開催に挑戦する予定。平日開催で複数の職員がかかわれるので、オンライン参加者も、会場と同じように、ブレイクアウトルームで5、6人で話し合うことができないか、現在、講師と検討している。

○C委員

脳について興味をもつ人は多く、専門的な話が聞けることもあって、需要は高いと思う。講座が木曜日の午後に実施されるため、高齢の方が多くなる可能性がある。それを見越して、参加者が交流を図る機会として、グループの話し合いを設けたのだろうと思った。この講座をきっかけに友達ができたらいいと思う。

○事業係長

腸を取り上げた昨年の教養講座も好評で、高齢者の方が多かった。だからこそグループで話し合う時間を設けている。ただ、高齢者のみを対象にしているわけではない。オンライン参加も可能とした場合に、若い人や職場や出先から参加する人がいるのか、反響がどれくらいあるのかを知りたくて、取り入れた。

○E委員

土日曜日は親子対象の講座、平日は高齢者対象の講座を企画することが多いと思う。しかし、今は、高齢になっても働いている方も多い。働いているが子育て中ではない方も視野に入れて、今回のような教養講座や趣味の講座などを土日曜日に実施することを考えてみてはどうか。

○B委員

オンライン参加も可能であれば、第2回の食欲というテーマは、公民館にほとんど来ることがない世代、若い女性たちも、ダイエットの関係から興味を持つのではないか。どのように訴えるかについても考えた方がよい。

○F委員

オンラインのあり方についてだが、自分も聞いてみたいと思う一方で、時間帯が早いと思う。オンライン参加可能という理由から、今まで公民館主催講座に参加したことがない方が参

加することを考えると、ブレイクアウトルームを作ると重たいと感じる人もいるのではないかなと思う。検討の余地があるのではないかな。講師の了解が得られれば、講座を録画して土曜日に配信だけを行うなど、コンテンツとして取っておいて1回だけ再生することなどができれば、公民館もよりオープンになっていくと思う。

○E委員

F委員の意見は、リアルタイムで行われる講座をグループでの話し合いや議論も含めて録画するということなのか。いつでも見られる講座ではなく、例えば、グループでの話し合いも含む昼間の講座の録画を流して、職員もかかわって、別バージョンの講座として、夜間に実施するという方法もあるかなと思った。講師の話だけを聞くのは、西東京市公民館の講座とはセンスが違ってきちゃう気がする。講座の様子を録画して流すのは参加者のプライバシーの問題があるが、録画が無理であれば、昼間の講座の様子を職員が伝えてもよい。録画を流すだけではなく、リアルタイムのオンライン参加も可能な別バージョンの講座として実施する方法もあると思った。

○事業係長

F委員は、まずオンラインで参加して公民館がどういう所か試してみようと思っている方にとって、顔を出してオンライン上で会話することは、ハードルが高いのではないかなということと言われたと思う。令和3年度に初めてオンラインの講座を実施した際、公民館の主催講座だからと、顔出しを必須として、みんなで話し合う講座として募集したところ、申し込みは少なかった。令和4、5年度に実施したライフデザイン講座は、そういう制限をなくして募集したところ、50人、60人集まり、オフ会も盛り上がった。今回の教養講座については、参加したい人だけがオンライン上で会話するようにした方がよいと考えており、現在、調整中である。まず、公民館の主催講座に興味を持ってもらい、次に、公民館に行って受講したら隣の人と会話できるのだと思ってもらいたい。活用方法はまだ模索中。

○B委員

くらしを彩る講習会（谷戸）について、備考欄に記載のある「彩りの会」とはどういう活動をしているサークルか。

○分館長（谷戸）

「彩りの会」は手芸をしているサークルである。

○A委員

「彩りの会」は、谷戸まつりでワークショップをしていた。子どもができるような器具をそろえて、手芸を教えて、子どもたちが楽しそうに作っていた。構成員はほぼ女性。

○E委員

多文化共生講座「避難民・難民支援から多文化共生、平和を考える」（保谷駅前）について、昨年度の多文化共生講座の報告書が提出された時に意見を述べた際、難民政策として、ウクライナだけでなくクルド人やミャンマー、過日事件が起きたスリランカなども射程に入れると分館長は言われた。ウクライナの避難民の問題を取り上げるが、ウクライナだけでない問題として展開して、皆さんで共有されるとよいと思う。

○分館長（保谷駅前）

今回は4回の連続講座になっているが、第2回でNPO法人国連UNHCR協会の職員を講師に招いて、グローバルな難民問題についてお話しいただいたり、ワークショップを行ったりするので、今までより幅が広がってくる。

○C委員

趣味の講座「ソラフラワーを作ってみよう」（田無）では、廃材となる木から採れる「ソラシート」という材料を用いるが、SDGsを意識した講座か。

○分館長（田無）

田無公民館ではSDGsに取り組んでおり、その一環として、ソラシートという廃材を使った趣味の講座を企画した。

○C委員

趣味の講座は、どうしても材料費がかかってしまうが。

○分館長（田無）

3回の連続講座だが、まずソラフラワーを作り、それを使ってミニリースとお正月飾りを作る。3回の材料費が1,500円である。

3 報告事項

(1) 行政報告

○公民館長

9月議会が9月2日から始まった。一般質問の中で公民館は1件の質問を受けた。「子育て支援部が実施した子ども会議はとてもよかった。これは主権者教育につながるのではないか。まちなか先生も主権者教育の一環になるのではないか」という質問だった。教育長は、主権者教育やまちなか先生の定義を説明した上で、まちなか先生が、子どもたちの主体的な学びの機会の一つとなるように学校と連携しながら、講座内容を工夫していくと答弁した。再質問はなく、まちなか先生を続けていってほしいということだった。

○G委員

主権者教育というのは、一般的には選挙権として捉えられがちだが、今、館長が話された通りだと思う。まちなか先生の本来の目的は、学校と地域をつないでいくところにあると思うが、副産物として主権者教育にもつながってくると思う。これからも内容を一緒に考えさせていただきながら、子どもたちの成長につなげていけたらいいと思う。

○A委員

サポーターとしてまちなか先生にかかわっているが、ご意見があれば、是非、学校から公民館に伝えていただきたい。公民館は、今、試行錯誤でまちなか先生を展開していると思うが、学校側から意見が伝えられると、よりよいものになっていくと思う。

(2) 公民館だより編集室報告

- 担当委員より、9月2日開催の公民館だより編集室会議について報告。

(3) 東京都公民館連絡協議会委員部会運営委員会報告

- 担当委員より、10月26日開催の委員部会主催の公開研修会について説明。

4 事務連絡及び情報交換

(1) 令和6年度第1回利用者懇談会について

- 田無公民館及び保谷駅前公民館の利用者懇談会に参加した委員が、実施内容と感想等を報告。

(2) その他

- 発起人より、公民館サポーター活動について提案。

(3) 令和6年度第6回定例会の開催について

日時：令和6年10月16日（水）午後6時30分

場所：柳沢公民館 視聴覚室